

令和 6 年度 学校評価年度末自己評価書

【評価基準】 A：目標を達成 B：8割以上達成 C：6割以上達成 D：6割未満

愛南町立緑小学校

※末尾についでいる番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点 目標	評価 項目 目録値(期待される結果)	評価 項目 目録値(期待される結果)	◇ 考察 ◆ 改善方策		評価 資料	学年 別	アンケート結果(%)				
			年度末	中間期	児童 数	1	2	3	4		
確 かな 学 力 の 定 着 と 向 上 (し っ か り 勉 強)	①【学校】児童は、授業の内容がよく分かっているか。 目標値：児童と教職員の肯定率が90%以上	A	◇児童・教職員とも、肯定率100%で、満足していることがうかがわれる。国語・算数のテストの平均点も中間期に比べほんのわずかではあるが、上がっている。しかし、中間期に比べ、児童の4の割合がわずかに減っている。学習内容が増えたため、少し不安を覚えているのかもしれない。 ◆これから学年末に向けて、休み時間や放課後を利用し、個に応じた支援をしていく。また、学習用端末を効果的に利用して、学力を定着させる。	年度末	児童1	A	100	73	27	0	0
	②【学校】ICTを効果的に使って学習をしているか。 目標値：児童と教職員の肯定率が90%以上	A	◇児童・教職員とも、肯定率100%で、満足していることがうかがわれる。中間期に比べ、教職員の4の割合が上がっており、授業改善に努めたことが要因だと思われる。 ◆今後も、スキルアップを目指しながらICTのよりよい活用方法について研修を重ね、児童の学力向上に繋げていく。	年度末	児童2	A	100	73	27	0	0
	③【学校】児童は、家庭学習の習慣が身に付いているか。 低：1日45分以上 中：1日60分以上 高：1日90分以上 目標値：児童・教職員・保護者の肯定率が90%以上	B	◇家庭学習の習慣が身に付いていないと答えていた保護者がなくなり、家庭学習をしようという態度が少し見えたのではないかとと思われる。教職員は、宿題の内容や量を学年の発達段階や個に応じて出す等、工夫した結果だと考えられる。 ◆目標学習時間が長いと感じる。他校の様子等も考慮して低学年30分、中学年45分、高学年60分にするよう検討をする。また、家庭学習時間調査を実施しなかったため、今後実施し、実態把握をする。	年度末	児童4	B	80	60	20	20	0
	④【学校】児童は、読書の習慣が身に付いているか。 低：月10冊以上 中：月8冊以上 高：月5冊以上 目標値：多読賞達成率、児童や教職員の肯定率の平均が90%以上	B	◇多読賞達成率は、中間期に比べて高くなり、読書をする習慣は身に付いてきている。ただ、中間期に比べ、読書が好きだと答えている児童が減り、あまり好きではない児童が増えている。読書集会等を行って読書に親しむ態度を育てようと試みたが、効果はあまり見られなかった。 ◆今後は、友達同士で好きな本を紹介し合ったり、図書委員会による読み聞かせ等の活動を行ったりする等、更なる工夫をして本に親しむ機会を増やしていきたい。	年度末	児童5	B	80	40	40	20	0

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果(人)					学校アンケート内容	
11	4	0	0	0	授業はよく分かりますか。	
6	2	0	0	0	1人1台端末の活用、協働的な学び、予習と授業との運動などが行えていますか。	

11	4	0	0	0	コンピュータを使った学習は楽しいですか。	
13	2	0	0	0	コンピュータを1日に2回以上使っていますか。	
7	1	0	0	0	1人1台端末の効果的な活用をしているか。	

9	3	3	0	0	毎日、家(+緑子ども塾・学習塾)で目標学習時間(45・60・90分間)勉強をしていますか。	
1	7	0	0	0	子ども達は、低・中・高学年に応じた目標学習時間(45・60・90分間)、学習に取り組んでいるか。	
8	5	2	0	0	お子様は、低・中・高学年に応じた目標学習時間(45・60・90分間)、学習に取り組んでいますか。	

6	6	3	0	0	読書は好きですか。	
3	5	0	0	0	(図書館利用の促進、みきやん通帳の活用、読み聞かせ、読書集会など)により、子ども達は読書習慣が身に付いていると思うか。	

自由 意見	★学習発表会で演技とセリフを完璧にできた。音楽発表会を頑張った。 ◇勉強は強制すると嫌がるので、親としても悩みどころです。授業中眠くならないように早く寝させ、学校の勉強に集中させるようにすることしか今のところできていません。				★児童 ○保護者 ●地域 ・教職員
----------	---	--	--	--	----------------------------

学校 運営 協議 会	①ほとんどの児童がよく分かっている。教職員の「4」の評価が上がっているため、児童の伸びを感じているのだと思う。 ②とてもよい評価である。 ③児童、教員、保護者の感じ方にずれがある。緑塾の様子では、すぐに宿題をして、その後、読書等をしているので、きちんとできているのではないかと。家庭学習は、宿題だけでなく、家の手伝いや読書等を含め、どういふことをすれば良いか一生懸命考えることで、考える力や生きる力が身に付くと思う。 ④読書をすれば学力も上がり、心も育つ。保育所でも、人の話を聞く力が付くように、絵本や紙芝居の読み聞かせをしている。ただ、集中して聞くことができない子が多い。話を聞いても、話の内容を想像できないので、読書離れに繋がっている気がする。ユーチューブやSNSの影響が大きいのではないかと。思う。	学 校 の 対 応
---------------------	---	-----------------------

①②今後も継続して取り組んでいきたい。 ③引き続き、宿題の内容や量を学年の発達段階や個に応じて出す等、工夫していきたい。また、来年度は、目標学習時間も各学年の実態に合わせて設定し、児童の過度な負担にならないようにしていきたい。また、家庭学習に家の手伝いや読書等を含め、どういふことをすれば良いか検討したい。 ④児童が読書離れにならないよう、様々な方法で読書に親しめるようにしたい。朝読書や読書集会を継続しながら、児童に読書のよさを理解させたり、習慣付けさせたりするとともに、主体的に読書に親しめる機会を増やしていきたい。
--

※末尾についでいる番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	○番号：評価項目 目標値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善策	評価資料					
				評価資料	評価	得点率	アンケート結果(%)		
豊かな心（みんなか）を育てる教育の推進	⑤【学校】児童は、楽しく学校生活を送っているか。 目標値：児童・保護者の100%が肯定	B	◇児童の肯定率は100%となり、これは毎月実施している学校生活アンケート結果とも合致している。一方で、児童が学校生活を楽に感じている保護者もいるため、改善を要する。 ◆3学期は子どもたちが主体となって生き生きと学びするための手立てをさらに工夫するとともに、その情報発信に努め、保護者の理解を得られるようにしたい。	年度末 保護者A	100	80	20	0	0
	⑥【地域】児童は、気持ちのよい挨拶ができていますか。 目標値：児童・保護者・地域・教職員の90%が肯定	A	◇児童・保護者・地域住民・教職員のすべてで肯定率が90%を超えたことから、気持ちのよい挨拶ができる児童が増えたことがうかがえる。しかし、まだ不十分と捉えている児童及び保護者もいるため、改善のための手立てを工夫する必要がある。 ◆日々の挨拶指導を更に充実・継続する。また、学校生活アンケートに挨拶の項目を増設し、児童が自分の挨拶について定期的に振り返ることができるようにして意識を高めた。	年度末 保護者A 保護者B 教職員A 教職員B	93 100 100 100	53 66 54 25	40 27 46 75	7 0 0 0	0 0 0 0
	⑦【教職員】教職員が児童を深く理解しているか。 目標値：教職員、保護者の90%が肯定	A	◇中間期に続き、肯定率は保護者、教職員共に100%を維持している。また、中間期に比べて4評価の割合が増え、教職員の児童理解に対する取組を評価していた。 ◆今後も、児童を見つめる会、緑つ子アンケート、教育相談を定期的に行うだけでなく、日々の教育活動を通して、共通理解をしながら全教職員で児童理解に努めていきたい。	年度末 保護者A 保護者B 教職員A 教職員B	100 100 100 100	80 87 82 63	20 13 38 13	0 0 0 0	0 0 0 0
	⑧【教職員】道徳科を中心に教育活動を広げて児童の人権に関する考えを深めたり広げたりしているか。 目標値：児童と教職員の肯定率が90%	A	◇児童、教職員共に、中間期の86%から100%へ評価が上がり、2評価がなくなった。道徳科の授業の中で、自分の思いを表現したり多様な考えに共感的に触れる機会を多く持つたりすることで、学び合う授業づくりが進んできたためと思われる。 ◆効果的な児童の学び合いとなるよう、今後も道徳科の授業に計画的に取り組んでいきたい。	年度末 保護者A 保護者B 教職員A 教職員B	100 100 86 86	67 87 73 43	33 13 13 43	0 0 13 14	0 0 0 0
	⑨【地域】児童は、人を大切にすることが育っているか。 目標値：児童・保護者・地域の90%が肯定	A	◇あったか言葉を使っていると感じている児童が増え、保護者も人を大切にすることが育っていると感じる人が増えている。教職員が言葉遣いについて共通意識を持って指導していること、全校話し合い等で言葉遣いについて考える時間を設けていること、様々な行事を協力して行っていること等が児童の心を育てていると考えられる。 ◆今後も、続けて人を大切にすることが育つよう取り組んでいきたい。	年度末 保護者A 保護者B 教職員A 教職員B	100 100 93 94	67 73 60 47	33 27 33 47	0 0 0 7	0 0 0 0
	⑩【学校】主体的な行動やたくましが育っているか。 目標値：児童・教職員の90%が肯定	A	◇中間期同様に、学校生活の中で児童が自分で考え行動する場面が多かったため、児童自身は、自分から進んで行動しているという意識が高まっている。 ◆あきらめずに頑張っていると感じている児童もいるので、児童同士で高め合える関係づくりや、教師から認める言葉かけを積極的に行い、たくましさを育てていきたい。	年度末 保護者A 保護者B 教職員A 教職員B 児童A 児童B	87 100 93 86 88 100	40 87 53 33 63 67	47 13 40 53 25 33	13 0 7 7 13 0	0 0 0 0 0 0
	⑪【教職員】個々の児童の特性や困難さに応じて指導しているか。 目標値：教職員、保護者の肯定率が全て90%が肯定	A	◇内訳をみると全体的に評価が上がっているが、2評価の保護者もいる。学校の取組についてまだ周知されていない部分が多いのではないかとと思われる。 ◆引き続き、日々の児童を見つめることに加えて、研修会での職員研修、関係機関との連携など、定期的に指導の見直しをしていく必要がある。	年度末 保護者A 保護者B 教職員A 教職員B	93 100 100 100	80 62 60 50	13 38 40 50	7 0 0 0	0 0 0 0

自由意見	<p>○朝の挨拶が寝起きできないことが多い。 ●子どもたちが楽しい学校生活をしていけるのは、先生方のおかげだと思います。ファイト緑小! ●「おはようございます。」明るく元気な声の掛け合いで一日が始まります。今年で20年余りになります。気が付けば長いお付き合いです。学校まで一緒にいきます。この朝の行事がこの歳まで元気に生きて来られた原因の一つだと思います。ありがたく思っております。これからも、明るく元気な声「おはようございます。」と声掛け合ってください。 ●あいさつについては、個人的にはずいぶん成長してきた児童もいてうれしく思います。あいさつだけでなく、横断歩道を止めてもらった際の「ありがとうございます。」など相手に正対すると、さらに心が伝わるようになると思います。 ●とても気持ちの良いあいさつでもらえます。これも、日頃先生たちにお会いしたときに思っているのですが、先生方の明るくやさしい雰囲気子どもたちに伝わっているからだろうと思います。小学生ではありませんが、中学生・高校生（知らない子）の通学時に道で出会うことがあります。子どもたちからあいさつをしてくれず。急に身に付くものではありませんので、小学校の時から習慣だと思ひ、あたたかい気持ちになります。 ・不登校児童がわいてくる。教職員全員が児童一人一人の特性を共通理解しながら主体性を重視した活動を取り入れたことがよかったです。 ・運動会・音楽発表・学習発表会など行事に児童と教職員が気持ち一つで取り組むことができた。 ・児童が主体となる学校行事等の企画・運営することができた。 ・大人が目が行き届いて、つい声をかけてしまうことが多く、児童も教員を頼っている。児童には、さらにたくましが育ってほしい。児童が主体的に動けるような働きかけを事前に行い、しっかり最後まで見守りたい。 ・元気で気持ちの良い挨拶や返事ができる児童とできない児童との差が大きい。 ・困り感のある児童へのより効果的な支援・対応を考えていきたい。 ・児童のコミュニケーションスキル能力が育ってほしい。</p>
	<p>⑤個別にしっかり対応していただいていると思う。 ⑥よく挨拶できる。スボ少の効果もあるのかもわからない。評価も良くなっている。「先取り挨拶」を地域の大人からもしていきたい。お互いに待つのではなく、自分から先にやるという意識を持ちたい。 ⑦SNSの影響が心配。中学校に向けて意識付けが必要。児童、教職員共に評価が上がっているので、道徳の授業改善ができたということではないか。また、2学期に様々な体験活動ができたことも良いことと思う。 ⑧児童の呼び方（呼び捨て）の良し悪しは、様々な意見があるが、それぞれの考え方、人間関係によって変わってくると思う。 ⑨自分で納得して決めて責任を取ることが大切。失敗を恐れず、どんどん挑戦する子どもになってほしい。小規模校では、大人がつい声を掛け過ぎてしまいがちである。たくましく育ってほしい。 ⑩個別にしっかり対応してもらっていると思う。</p>

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容	
4	3	2	1			
12	3	0	0	0	0	学校は楽しいですか。
11	3	0	1	0	0	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。

8	6	1	0	0	0	相手が笑顔になるような気持ちのよい挨拶や返事ができましたか。
10	4	1	0	0	0	お子さんは、気持ちのよい挨拶や返事ができていますか。
7	6	0	0	0	0	児童は地域の人たちに気持ちのよい挨拶や返事ができていると思いますか。
2	6	0	0	0	0	児童は、明るい挨拶や返事をしているか。

12	3	0	0	0	0	学校は、児童について深く理解しようとしていると思いますか。
7	1	0	0	0	0	あったか言葉の使えやすさや思いやりを伝える意識を深めているか。また、いじめを多面的・多角的に理解し認識しようとしたか。
5	3	0	0	0	0	感謝の言葉の大切さを伝えるとともに、緑つ子レターなどで自己を認める機会をしっかりとてたか。

10	5	0	0	0	0	道徳の授業で、いろいろな感じ方や考え方で話し合いましたか。
7	1	0	0	0	0	道徳科を中心に多様な感じ方・考え方・価値観の尊重、対話的な学びづくりなど議論する活動に努めているか。

10	5	0	0	0	0	あったか言葉を使って、友達と仲良くしていますか。
11	4	0	0	0	0	お子さんは、人を大切にすることが育っていると思いますか。
4	8	0	0	0	0	児童は、人を大切にすることが育っていると思いますか。

6	7	2	0	0	0	自分で考え、自分で決めて、自分から進んで行動していますか。
7	1	0	0	0	0	主体的な行動選択ができる工夫や児童の言動を褒める教育に努めたか。
8	6	1	0	0	0	難しいことやしんどいことも、あきらめずがんばることができましたか。

12	2	1	0	0	0	学校は、お子さんの特性や困難さに寄り添った指導をしていると思いますか。
5	3	0	0	0	0	特性の理解、困り感の解消方法の提示など、合理的配慮の提供をしているか。

★児童
○保護者
●地域
・教職員

学校運営協議会	<p>⑤児童も保護者も肯定率が100%になることを目指し、手立てを考えていく。 ⑥3学期は、更によくできるよう「先取り挨拶」を指導している。学校ではもちろん、地域の方にも自分から先に挨拶ができるようにしたい。 ⑦小規模校の利点を生かし、今後も全教職員で児童理解を深めていきたい。 ⑧時代の変化に伴い、今後は道徳科でSNS等についての題材も扱い、一緒に考えていきたい。 ⑨温かい関係作りができるようにするために、言葉遣いについての指導を引き続き行いたい。呼び捨てについては、話し合いを通して、様々な考え方があることを理解させた上でみんなで考えていきたい。 ⑩児童の様子がよく見えるが故に、つい手を掛け過ぎてしまうのが小規模校の欠点である。主体性やたくましさ身に付くように配慮しながら支援していきたい。 ⑪今後も、個々の児童の特性や困難さをよく観察し、個に応じた指導を心掛けていきたい。</p>	学校の対応
---------	---	-------

※末尾についている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

重点目標	○番号：評価項目 目録値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善方策	評価資料	アンケート結果 (%)					
					年度末	中間期	児童10	児童14	保護者10	保護者14
(つよいからた)	⑫【学校】児童は、運動に親しんでいるか。 目標値：児童・教職員の90%が肯定	A	◇中間期同様目標値は達成しているが、依然として1名の児童が運動に対する自己肯定感を持つことができていないと考えられる。 ◆体育科の授業で、運動能力に関わらず、どの児童も楽しみながら運動に取り組める活動を計画的に取り入れる。また、高学年児童が中心となって、全校での運動遊びを企画・運営させる。	年度末	A	93	66	27	0	7
				中間期	A	100	87	13	0	0
				保護者10	A	93	73	20	0	7
健康教育の推進	⑬【家庭】児童は「早寝・早起き」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の90%が肯定	B	◇保護者の評価が中間期よりも上がっている。学校保健委員会で、基本的な生活習慣の確立に向けて、児童の実態を知っていただき、共に話し合いの場を持たせて、同じ方向を向いて健康課題に取り組む一歩が踏み出せたと思う。児童についても、保健集会を通して基本的な生活習慣の大切さを学び合う機会を設けたことで、自分の生活習慣を見直すことができた。 ◆学校保健委員会から出てきた手立てについて、保健だより等を通じて保護者へ啓発を行っていきたい。また、児童の保健集会を参観日で保護者へも見ていただき、児童・保護者・学校が協力して、生活習慣の改善に努めていけるような体制を作っていきたい。	年度末	B	80	33	47	13	7
				中間期	B	88	33	55	7	7
				保護者10	C	73	20	53	13	13
自由意見	⑭【家庭】児童は「朝ごはん」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の90%が肯定	B	◇朝食摂取率は、高い。保健集会でもクイズで朝食の必要性について取り上げ、朝食の大切さについて学んだが、朝食を食べる習慣が身に付いていない児童もいる。 ◆学校保健委員会、朝食摂取について協議した結果、家庭で朝食作りを体験させる、各家庭の朝食レシピを伝え合う等の意見をいただいた。朝食の摂取率向上や栄養面についても、保護者と協力しながら手立てを講じていきたい。	年度末	A	93	86	7	7	0
				中間期	A	100	60	40	0	0
				保護者10	B	80	73	7	20	0

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容
4	3	2	1		
10	4	0	1		体育の授業、放課後の運動、モーニングラン、外遊びなど、運動をがんばっていますか。
7	1	0	0		全校遊び、体力づくりえひめITスタジアムの活用などで運動の習慣を身に付ける。

5	7	2	1		早寝・早起きは できていますか。
4	9	1	1		お子さんは、早寝・早起きの習慣が身に付いていると思いますか。

13	1	1	0		朝ごはんは 食べていますか。
10	2	3	0		お子さんは、朝ごはんを食べる習慣が身に付いていると思いますか。

健康観察より	就寝時間	2学期
	21時まで	34.0%
	21時～22時	47.0%
	22時以降	19.0%

朝食摂取率93%

★児童
○保護者
●地域
・教職員

学校運営協議	⑰昔は休み時間になると喜んで外に出て、体を動かして遊んでいたが、今はなかなかそれができない子どももいる。子どもの意見を基に全校遊びを企画して実施することは、体を動かして遊ぶことの楽しさを知る機会となり、とても良いことだと思う。 ⑬⑭早寝・早起きをする、朝ごはんを食べるといった習慣が身に付いていないのは、家庭での親の意識改善が必要である。親が子どもの手本になることが重要である。その上で、ゲームやスマホ、テレビ等のルールを決めることが大切である。	学校対応	⑰体育科の授業や放課後の水泳・陸上練習、朝や業間等の活動を通して、運動に親しむことができるようにしたい。また、みんなで楽しめる全校遊びも継続して行いたい。 ⑬⑭早寝・早起き、朝ごはんの習慣を身に付けるためには、保護者の協力が不可欠である。2月の参観日で行う保健集会等、児童と保護者と一緒に考えていく機会を増やしていきたい。
--------	--	------	--

※末尾についている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

重点目標	○番号：評価項目 目録値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善方策	評価資料	評価時期	アンケート結果 (%)							
						肯定率	4	3	2	1			
その他	⑮【地域・学校】地域との交流・体験活動等は地域を愛する心を育てているか。 目録値：児童・保護者・地域・教職員の90%が肯定	A	◇児童・保護者・地域・教職員すべてで肯定が90%以上となった。2学期も、稲刈りや運動会、収穫祭等、地域と連携したり交流したりする機会がたくさんあり、地域愛を育成することができた。また、学習発表会では、劇の中でお世話になった地域の方々を紹介したり、出演して盛り上げていただいたりしたこともよかったと思われる。 ◆中間期より少なくなりましたが、まだ「2」の評価もある。また、自由記述の中に、「より多くの地域の方にも参観してもらえるような手立てを」という御意見もある。今後も公民館や老人クラブ、婦人会等、地域との連携を強めて、緑地域の良さを児童や保護者に知ってもらえるような活動をしていきたい。	児童16	A	93	66	27	7	0			
				保護者9	A	93	53	40	7	0			
				地域住民10	A	100	33	67	0	0			
				教職員11	A	100	87	13	0	0			
				児童15	A	100	73	27	0	0			
				保護者8	B	80	47	33	20	0			
	地域住民12	A	92	50	42	8	0						
	教職員11	A	100	50	50	0	0						
							98.5	— 年度末肯定率平均					
	⑯【教職員】研修や自己研鑽に努めているか。 目録値：教職員の90%が肯定	A	◇教職員の自己評価のみではあるが、肯定率100%となった。一人一台端末の活用、校務支援システム等のICT機器にも慣れ、さらに効果的に活用できるよう研修を積み重ねている。 ◆教職員には、授業力だけでなく、学級経営力や生徒指導力、柔軟な対応力等、人間としての幅広い能力が求められている。現状に満足することなく、更なる研修を重ねていく。	教職員14	A	100	38	62	0	0			
				教職員10	A	100	50	50	0	0			
				教職員14	A	100	25	75	0	0			
教職員11													
						100.0	— 年度末肯定率平均						
⑰【家庭・地域・学校】学校は、ホームページや学校だより、学級通信等で情報の共有に努めているか。 目録値：保護者・地域・教職員の90%が肯定				A	◇保護者・地域住民・教職員全てで肯定率が100%になった。また、全てで中間期より「4」の割合が高くなった。地域住民においては、全員に「4」の評価をいただいた。ほぼ毎日更新し情報発信してきた成果である。また、修学旅行や集団宿泊活動では、その日の様子を素早くホームページで見られるようにしたことよかったと思われる。 ◆学校での活動の様子をなるべくたくさんの方へ紹介できるようにしたい。しかし、個人情報や特定されるものや肖像権を侵害するもの等、情報モラルをしっかり守りながら情報の共有に努めたい。	保護者9	A	100	87	13	0	0	
	地域住民10	A	100			100	0	0	0				
	教職員10	A	100			75	25	0	0				
	保護者9	A	100			73	27	0	0				
	地域住民12	A	100			92	8	0	0				
	教職員12	A	100			62	38	0	0				
						100.0	— 年度末肯定率平均						
⑱【学校】学校は、衛生的で落ち着いた場所であるか。 目録値：児童・保護者・地域・教職員の90%が肯定	A	◇保護者・地域住民・教職員で肯定率が100%になった。外回りの環境については、地域コーディネーターを中心に、ランド整備を老人クラブやスポ少の皆様に、落ち葉掃きも多数の地域の方々へ御協力いただきながらよりよい環境を保つことができた。校舎内については、日々の清掃活動を児童・教職員で協力して行うことで衛生的な環境を整えることができた。 ◆学校は、自然豊かで、とても落ち着いた環境ではあるが、夏は草、秋から冬にかけては落ち葉と、環境を維持することはとても大変である。今後も保護者や地域の力を借りながら環境維持に努めたい。整理整頓や清掃が苦手な児童もいるため、個に応じて声掛け等の対応をしていきたい。また、学校で指導したことが家庭生活でも生かされるよう保護者との連携も強めたい。	児童16	A	93	66	27	7	0				
			保護者9	A	100	87	13	0	0				
			地域住民10	A	100	100	0	0	0				
			教職員12	A	100	87	13	0	0				
			児童16	A	93	73	20	7	0				
			保護者9	A	93	53	40	7	0				
地域住民14	A	100	92	8	0	0							
教職員12	A	100	38	62	0	0							
						98.9	— 年度末肯定率平均						

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容
4	3	2	1	0	
10	4	1	0	0	地域の方に教わったりいっしょに活動したりする学習は楽しいか。
8	6	1	0	0	お子さんは、「緑地域を愛する心」が育っていると思うか。
4	8	0	0	0	児童は、「緑地域を愛する心」が育っていると思うか。
7	1	0	0	0	ふるさと学習、地域との交流、地域貢献など、地域を愛する心は育っているか。

3	5	0	0	0	自主研修、新しい教育への学び、読書など、研修や自己研鑽に努めたか。
4	4	0	0	0	校務支援システム等を活用することで、業務改善につながっていると思うか。

13	2	0	0	0	学校は、学級だよりやホームページによる情報の共有に努めていると思いますか。
13	0	0	0	0	学校は、ホームページや学校だよりによる情報の共有に努めていると思いますか。
6	2	0	0	0	通信やHPでの情報発信、保護者・地域住民・外来者・電話への対応など、保護者・地域住民との信頼関係づくりに努めたか。

10	4	1	0	0	学校は、きれいで、落ち着いた場所か。
13	2	0	0	0	学校は、衛生的で、落ち着いた教育環境が保たれていると思うか。
13	0	0	0	0	学校は、衛生的で、落ち着いた教育環境が保たれていると思うか。
7	1	0	0	0	衛生的で落ち着いた場所のある学校づくりができたか。

自由意見	<p>★収穫祭を頑張った。イベントは大変だったけど、頑張ることができた。</p> <p>○まだ低学年なので、「緑地域を愛する心」はまだ理解が追いついていないような感じです。ただ、自然や緑新鮮市は好きなようです。学年が上がってくると、そのうち育ってくるかと思えます。</p> <p>○郡陸上大会で、本部テントが見学エリアとトラックの間に位置されているため、子どもたちが走っている姿を見て応援することができません。次年度以降検討いただけるよう、申し入れていただければ幸いです。</p> <p>●学習発表会では、地域の方の発表や地域の方も巻き込んだ内容で、とてもおもしろかったです。田植え、読み聞かせ、庄屋さんの見学など、様々な場面で子どもたちを支えてくださっていることを改めて感じました。緑地域や人を大切にすることなど、人とのつながりで学んでいると思えます。</p> <p>●各行事や研修会に保護者や地域の方の参加者が多く、学校や児童の活動に対する関心の高さうかがえます。</p> <p>●学習発表会など大きな学校行事の際、保護者や一部の学校関係者だけでなく、より多くの地域の方にも参観してもらえそうな手立てを考えていきたいものです。</p> <p>●学校授業日に運動場でグランドゴルフの練習が行われている光景を見ると、寂しい気がします。</p> <p>●先日学習発表会。緑地域の特色を盛り込み、児童・地域の人々ともに緑に誇りを持ってよう配慮していただき感謝しています。</p> <p>●11月は、地域食材や育てた食材を使ってのお料理を振舞っていただき、ありがとうございました。</p> <p>●忙しい教育課程の中、地域との交流を深める行事を各種とっていただいています。</p> <p>●地域の子どもは地域で育てる。我々地域の者もその思いで協力します。</p> <p>●学校行事としては、しんどい部分や地域がもっと子どもに関わりたいことは、公民館の地域行事に位置付けると良いかと思えます。来年の計画を公民館と練りたいと思います。</p> <p>●多くの行事があったが、どれも子どもたちにとって達成感を味わえるものになったと思う。また、稲刈り、収穫祭等を通して、地域とのつながりを持ち、感謝の気持ちが育ったと感じる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>★児童</p> <p>○保護者</p> <p>●地域</p> <p>・教職員</p> </div>
------	---	---

学校運営協議会	<p>⑮学習発表会の日に子どもが頑張って発表しているのに、運動場でグランドゴルフの練習をしているということが残念に思う。日曜日でも授業のある日は公民館主事に伝えて、それをグランドゴルフの会長に連絡してもらおう良いのではないかとと思う。</p> <p>⑮学校に関わりがある方以外の地域の方々にも積極的に声を掛けて行事等に参加してもらえないようにしてほしい。</p> <p>⑯⑰全て100%でとても良いと思う。</p> <p>⑱外の環境整備が大変なときは、PTAや地域住民に呼び掛けてもらったら喜んで協力したい。特に、木々が古く、子どもに危険がある場合はすぐに対応してほしい。地域もすぐに協力する。</p>	<p>学校対応</p> <p>⑮公民館や老人クラブ等との連絡を密にし、事前に話し合いながら解決していきたい。</p> <p>⑮地域の方全てに案内状を出すことは、様々な理由により難しい。回覧する学校だよりやホームページ等でも呼び掛けていきたい。</p> <p>⑱今後、更に児童数も教職員数も減少することが考えられる。環境整備等では、お言葉に甘えて是非PTAや地域の方々にも協力をお願いしたい。</p> <p>⑱子どもにとって危険な箇所を発見したら、すぐに学校または教育委員会に対応する。PTAや地域の方々にも積極的に協力をお願いしたい。</p>
---------	---	---